

地理学会ニュース 2016年度 第2号

法政大学地理学会 2016年9月30日発行

選挙管理委員会について

2016年5月30日に開催された2016年度第2回常任委員会にて、選挙管理委員会の推薦、選出を審議し、以下の3名に委嘱いたしました。その結果、3名からは就任承諾が得られましたので、ここにご報告いたします。

委員長 小寺浩二（東京） 委員 齋藤 圭（東京） 委員 浅見和希（東京）

選挙管理委員会 公示1号

2016年9月30日

法政大学地理学会選挙管理委員会

2017～2018年度法政大学地理学会評議員の選挙を、法政大学地理学会評議員選挙細則に則り、下記の日程および要領で実施します。（注：評議員選挙細則は一部改正されております。）

記

◆投票用紙の配布

一般会員に対して、本年12月上～中旬発行予定の「法政大学地理学会ニュース第3号」に投票用紙を同封して送付する。

◆投票受付

すべての投票は郵送によって受付ける。ただし、2017年1月17日（火）迄必着とする。

◆投票用紙への記入方法

投票用紙に15名以内の氏名を連記する無記名投票とする。なお、記入に関する注意事項は、投票用紙の欄外に明記する。

◆被選挙人

評議員選挙細則第5条に基づく評議員被選挙人名簿（法政大学地理学会ニュース第3号に同封）による。

◆開票

評議員選挙細則第6条に基づき、2017年1月19日（木）に選挙管理委員会において開票し、有効投票数の多い順から20名の評議員を決定する。なお、投票の有効・無効の判定、および同数得票者が生じた場合の取り扱いについては、選挙管理委員会が決定する。

以上

評議員選挙細則改正に関するお知らせ

会則の改正、評議員選挙の投票率の低下、学生会員の学会運営に対する責任の限界、学生会員の個人情報保護などを考慮し、第3回常任委員会（2016年9月12日）において、評議員選挙細則は下記のように改正されました。

記

(旧) 第3条 選挙管理委員会は、常任委員会によって推薦され、会長から委嘱される3名をもって構成される。

(新) 第3条 選挙管理委員会は、常任委員会によって推薦され、会長から委嘱される一般会員3名をもって構成される。

(旧) 第4条 評議員選挙の選挙権および被選挙権をもつものは、選挙実施当該年度の7月1日現在の本会の会員とする。

(新) 第4条 評議員選挙の選挙権および被選挙権をもつものは、選挙実施当該年度の7月1日現在の本会の一般会員とする。

(旧) 第5条 評議員選挙にあたっては、(中略)候補者の推薦を行うことができる。

(新) 第5条 **(全削除して第6条を繰り上げ)**

(旧) 第6条 会員は、選挙管理委員会が作成した評議員候補者名簿に基づき所定の用紙を用いて、無記名、20名以内の連記で投票するものとする。この際、候補者名簿以外の会員に対して、投票することをさまたげない。

(新) 第5条 一般会員は、選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿に基づき所定の用紙を用いて、無記名、15名以内の連記で投票するものとする。~~この際、候補者名簿以外の会員に対して、投票することをさまたげない。~~ (削除)

(旧) 第7条 開票は、(中略)会則第14条に基づき30名を当選者とする。

(新) 第6条 開票は、(中略)会則第14条に基づき20名を当選者とする。

(新) 附則 本規定は2016年9月1日より実施する。

以上

法政大学地理学会 2016年度第2回例会（巡検）開催のお知らせ

テーマ：野田・流山・関宿を巡る
—醸造業と利根川水運を考える—

日程：11月19日（土）9：30～17：30
集合場所：JR常磐線松戸駅中央改札を出たところ
集合時間：9：30
解散場所：JR常磐線松戸駅
解散時間：17：30
案内者：相原正義、伊藤達也、加藤美雄、小原文明、小山伸樹、細田 浩、前李英明
参加費用：一般2,500円 学生1,500円
定員：最大50名

主な見学場所とタイムスケジュール
09：30 松戸駅出発（貸切バスにて移動）
↓
10：00～11：00 流山市内
↓ 万上みりん工場（外観）見学・近藤勇捕縛の蔵・利根運河の見学
↓
11：30～13：30 野田市内
↓ 野田市立博物館・高梨家の上花輪歴史館前・人車鉄道終点下河岸枡田家
↓ （野田の醤油積み出し問屋）の見学
↓
14：30～16：00 関宿町・境町内
↓ 県立関宿博物館・江戸川の水位調節門・船橋随庵の随庵堀・境河岸の見学
↓
17：30 松戸駅到着

お願い 昼食は各自でお弁当をご用意ください。天気がよければ江戸川堤防にて昼食とします（天気が悪ければバスの中かも？）次に、各目的地においては結構歩くと思います。そのよう

な服装・靴でご参加ください。また、上記見学のタイムスケジュールはあくまでも目安です。途中、変更があり得ることをご理解ください。

第2回例会(巡検)のご案内

今年度の巡検は千葉県の野田市、流山市、関宿町（現野田市）を対象地として実施します。一日貸し切りバスで見学します。訪問先は古くから利根川・江戸川の舟運にて醸造産業が発達した地域です。私たちの食卓に並ぶ醤油、みりんの生産地として名をはせ、現在もわが国トップブランドの企業が立地します。そうした魅力あふれる地域を歴史・文化とあわせて見学したいと思っています。

加えて、そうした地域の発展に多大な影響を与えた利根川・江戸川の河川舟運についても一緒に学びたいものです。利根川・江戸川の河川舟運に大きな影響を与えた利根運河や関宿の利根川・江戸川分岐点を見学することによって、まさに地理的な観点から地域の歴史・文化・経済を考えていきます。

案内者として当該地域の地理・歴史・文化・経済に圧倒的な学識を有する法政大学地理学会副会長の相原正義先生にお願いすることができたことは、本プログラムが成功裏に終わる最大の理由となるでしょう。あとは会員の皆さんにご参加いただくだけです。貸し切りバスは最大50名の搭乗が可能となる大型バスを用意いたします。このバスも学会員で集会委員をいただいている方から破格の価格でご用意いただきました。その結果、参加費用は一般会員2,500円、学生会員1,500円と格安で提供することができます。非会員の方も大歓迎ですので、お近くの方をお誘い合ってご参加ください。秋の土曜の一日、一緒に学習しませんか。

学生の皆さんは地理学科に入学した時点で学会員になっています（通教学生は入会手続きが必要です）。大学の正規の授業だけでは得られない地域学習のチャンスをぜひご利用ください。

法政大学地理学会集会委員会

巡検の申し込み先

電子メール：shukai@chiri.info

往復はがき：〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学文

学部地理学科 法政大学地理学会集会委員長
伊藤達也 宛
締切：11月16日（水）

参加者は申し込みの先着順で決定します。50名に達した時点で募集は終了となりますので、参加を希望される方は上記宛先にお早めにお申し込みください。受付が完了した時点でメール返信（往復はがきの方ははがきにて返信）させていただきます。

法政大学地理学会 2016 年度 第1回例会報告

シンポジウム『『ブラタモリ』は地理か？』

7月2日（土）、午後2時から6時にかけてシンポジウム『『ブラタモリ』は地理学か？』を開催しました。会場は法政大学市ヶ谷キャンパス58年館877教室です。長らく法政大学の看板建築物であった55年館、58年館は間もなく取り壊されてなくなってしまいます。参加された皆さんにとって、お別れを惜しむ最後の機会になったかもしれません。

シンポジウムは司会の伊藤（法政大学文学部）から簡単な趣旨説明がなされた後、松田磐余先生（関東学院大学名誉教授）から「貝塚爽平著『東京の自然史』から52年」、谷口榮先生（葛飾区郷土と天文の博物館学芸員）から「葛飾・柴又の文化的景観を読み解いたブラタモリー都市近郊・微高地・河川・用水・災害ー」、上本進二先生（神奈川災害考古学研究所代表）から「こうやって創っていたのかブラタモリーブラタモリと地理学の接点ー」の講演をいただきました。続いて森田喬先生（法政大学デザイン工学部）から3人の講演全体にわたるコメントをいただき、その後、講演者、コメンテーターをパネリストとするシンポジウムが開催されました。

講演内容は恐らく「法政地理」の次号に掲載されると思いますので、詳しくはそちらをご覧ください。ここで簡単に紹介するとすれば、松田磐余先生からは、貝塚爽平先生の名著『東京の自然史』の解説をいただく中

で、「ブラタモリ」の学問的視点からの特徴やその限界が語られ、谷口榮先生、上本進二先生からは、実際に「ブラタモリ」の番組制作に関わる中で、また実際に出演される中でしか得られない貴重な情報がたくさん提供されました。会場には約70名の参加者がいましたが、3人の先生並びにコメンテーターからいただいた情報はいずれも知的好奇心を揺さぶるものであり、会場は終始、真剣なまなざし、そして多くのうなずきと笑いに包まれていました。シンポジウムでは会場から多くの質問や意見が投げかけられ、その後開かれた懇親会も当初の予想をはるかに上回る人たちの参加が得られ、夜遅くまで楽しい時間を過ごすことができました。ご講演、並びにコメントをいただいた4人の先生、そして会場に足を運び、積極的に議論にご参加いただいた多くの会員諸氏に感謝する次第です。



(伊藤達也 法政大学)

『法政地理』投稿規定の改訂について

1987年1月 制定

2016年9月 第6回改訂

法政大学地理学会編集委員会



- 1) 法政大学地理学会のすべての会員は、会誌『法政地理』に投稿することができる。
- 2) 原稿の種類は論説、研究ノート、フォーラム(会員からの情報や話題)、資料解説、文献紹介などとする。
- 3) 投稿された原稿は、査読者の査読結果に基づき、編集委員会がその採否を決定する。編集委員会が必要と認めたとき、原稿の加除訂正を著者に求める。極めて小部分の語句訂正は編集委員会でおこなう。投稿規定から著しく逸脱したと判断された原稿は著者に差戻す。
- 4) 原稿は原則としてワープロソフトで作成する。手書きによる原稿を希望する場合は、事前に編集委員会と協議する。原稿の分量は論説を刷上がり16頁、研究ノートを12頁、フォーラムを8頁、資料解説を4頁、文献紹介を2頁以内とする。原稿はB5版に横書きし、天地左右の余白と行間隔を十分に取り、1枚22字×20行(文献紹介は24字×20行)で作成する。刷上がり1頁は原稿4枚に相当する。

編集委員会が認めた超過頁分の経費やカラー印刷について会誌製作に関わる追加の諸経費が発生した場合、原則として著者の実費負担とする。ただし、編集委員会が特別に依頼するものはこの頁制限通りではない。原稿の提出は電子媒体(CD、フラッシュメモリなど、以下同じ)あるいは電子メールの添付ファイルとし、文書ファイルは一太郎・Word・テキストファイルのい

ずれかの形式とする。

5) 刷上がりレイアウトはB5版とし、1頁22字×41行×2段組で編集委員会において作成する。表題、要旨、キーワードは1段組みにし、行間などは既刊の『法政地理』を参考にする。図表および写真は、レイアウト内に刷上がりサイズ分の余白を取り、図表番号を指示する。図表の縮小率(%)を示す。

6) 論説、研究ノート、フォーラム、資料解説には、英文の表題をつける。論説、研究ノートには400字以内の和文要旨と5つ以内のキーワード(英文併記)をつけることとし、また、別途300語以内の英文要旨をつけることができる。

7) 原稿はすべて横書きとし、特に必要な場合を除き、当用漢字、新仮名遣いを用いる。数字は基本的にSI単位を用い、kg, km, ha, tなどを用いる。年号は西暦を用い、必要があれば元号を括弧に入れて併用する。印刷に際してイタリック体を用いたり、傍線、傍点をつける場合には、原稿にその旨を指示する。なお、行末にはみ出す句読点、閉じ括弧などは、改行せずに行末に記す。ただし、始め括弧は文頭に記す。数字及び数字の小文字は1マスに2字あてて。

8) 本文の構成は「章」をI, II, III, 「節」を1, 2, 3, 「項」を1), 2), 3) で表わす。注記は本文の末尾にまとめて示し、注記番号は本文中の該当箇所に1マスを取り、右上肩に片括弧をつけた通し番号で示す。注記の文章は1行24字書きとする。

9) 文献は、本文または注記中に小原敬士(1965)、辻村太郎(1923a)などの形で表わし、論文最末尾に参考文献をまとめて次の様式で表示する。和文のものを先にし、著者名は50音順、欧文は著者名のアルファベット順、同じ著者の場合は文献の発表年次順に並べ、該当頁数を示す。

○和文文献

石田龍次郎 1971. 嘉南農田水利組合と高雄出口加工区. 経済地理学年報 17. 1-23.

小原敬士 1965. 近代資本主義の地理学. 大明堂.

綿谷起夫 1959. 資本主義の発展と農民の階層分化. 東畑精一・宇野弘蔵編『日本資本主義と農業. 岩波書店. 123-166.

アルフレート・ヴェーバー, 江澤讓爾訳 1938.

工業分布論. 改造社出版.

○欧文文献

Anuchin, V. A., Balteanu, D. and Serban, M. 1973. Theory of Geography.

Chorley, R. J. ed. *Directions in Geography*. Methuen. London. 25-78.

Dorward, N. M. M. and Wisse, M. J. 1978. Market Areas in Product Differentiated Industries. *Economic Geography* 54. 5-17.

Holland. S. 1976. *Human Geography*. Macmillan Press. London.

10) 図表などには第1図、第1表のようにそれぞれ通し番号をつけ、その挿入箇所を原稿の欄外に(第2図)の形で朱書きして指示する。図表などの表題や説明文は番号順に別紙にまとめて提出する。

11) 図表はそのまま製版できるものを提出する。図の寸法は刷上がりの1.5倍程度が望ましく、図表には縮小率(%)を指示する。なお、図の刷上がりの左右の幅は1段分(最大70mm)か2段分(最大145mm)、天地は表題や注記などを含み最大200mmとし、図中の文字は、印刷時の文字の大きさが2.5mm角程度になるようにする。地図には方位と縮尺(目盛り尺で示す)を必ず入れる。

12) 表の形は既刊の『法政地理』を参照し、できるだけ簡潔に作成する。

13) 以上の他、細目は『法政地理』最新号を参考にする。

14) 投稿にあたっては、本誌綴じ込みの送付状に必要な事項を記入し、原稿、刷上がりレイアウト、図表などとそれら一切のコピー1部、電子媒体を添付して提出する。また、著者校正のために必ず手元にコピーを残しておく。受理された原稿と電子媒体は原則として返却しない。ただし、図表や写真は投稿時に申し出があれば返却する。

15) 著者の実費負担により50部単位で別刷りを作成できる。ただし、学生会員については50部まで無料とする。

連絡先: 法政大学地理学会

法政大学地理学会編集委員会

〒102-8160 千代田区富士見 2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

FAX: 03-3264-9459

mail: henshu@chiri.info

2016年度委員会メンバー

(2016年9月30日現在)

◎常任委員長

細田 浩

◎編集委員会

委員長 加藤 美雄

委員 吉岡 耀子, 三尾 成彦, 千葉 晃, 菊池
里央, 勝部 瑞貴

◎集会委員会

委員長 伊藤 達也

委員 小山 伸樹, 藤本 健人, 南 春英

◎会計委員会

委員長 小原 文明

委員 塩谷 恭正

◎庶務委員会

委員長 前杢 英明

委員 齋藤 圭, 福井 健弘,
中村 有沙, 吉原 圭佑,
北川 珠己, 須貝 康平

◎広報委員会

委員長 前杢 英明 (兼任)

委員 安森直輝, 永保敏伸

<<会員の動向>>

(2016.5.31~9.12の会員動向です。敬称略、申し込み順)

【入会】

[一般]

原田 良博 (千葉) / 村田 遼馬 (神奈川) /
水野 亮 (新潟) / 澤柿 教伸 (東京) / 石井
里佳 (千葉)

[学生]

森泉 博夫 (東京) / 飯塚 新真 (東京)

<<会計委員会より>>

本年度の会費の納付をおねがいします。なお、9月12日時点における本年度会費の納付率は一般会員 59.2%、学生会員 48.8%です。また、2015年度以前の会費の納付がお済みでない方は、その分の納付の手続きもお願いします。常任委員会での決定により、会費を3年以上滞納している会員には会誌ならびに学会ニュースの送付を停止することになりましたので、ご注意ください。なお、ご自身の会費の納付状況をお知りになりたい方は、会計委員会 (kain_kaihi@chiri.info) までお問い合わせください。

本学会は会員皆様の会費によって運営されておりますので、その点をご理解いただき、ご協力のほどよろしく申し上げます。

<<学会ニュース原稿の募集>>

法政大学地理学会ニュースに掲載する原稿を広く会員の皆様から募集しております。原稿のご相談は、下記の連絡先までお願いいたします。連絡先：庶務委員会 (shomu@chiri.info)

2016年9月30日発行

編集 法政大学地理学会庶務委員会

発行 法政大学地理学会常任委員会

〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

Fax. 03-3264-9459

E-mail hoseichiri@chiri.info

Web <http://www.chiri.info/index.html>

郵便振替 00170-9-167442